

絵本周辺領域の動向——絵本原画展 2006

執筆者：竹迫 祐子

掲載誌：「BOOKEND」 絵本学会 2010年10月20日

近年、ますます増えてきた絵本原画展。その背景には、絵本への関心の高まり、絵本ファンの広がりとともに、美術館側の意図として、子どもを対象とした企画が求められているということが考えられます。同時に、さまざまな文化活動の中でも予算が付きやすいと言われる子どものための活動。そうした状況の中で、県立や市立といった公立の美術館が今までにない広がり、絵本原画展に取り組むようになってきました。それらは、一方で比較的低予算で開催できるという利点も手伝い、次代を担う若い世代を積極的に迎えたい美術館にとっては、魅力的な企画と言えるようです。

2006年1年間に開催された絵本原画展だけでも、優に140を超えます。規模も、百数十点のものから、絵本美術館や小さなギャラリーで開催される十数点の展覧会までまちまちですし、内容も日本の絵本画家の個展から、海外の美術館から集められた作品によるものまで多様です。

それらを、大別すると、

- ・絵本画家の個展
- ・絵本美術館の収蔵作品展
- ・特定のテーマで絵本原画を集めた企画展
- ・国際的な絵本コンクールに関連した展覧会

会場も、美術館、デパートの展示場、ギャラリー、書店等々と様々です。

イタリア、ポーランドでの国際的な絵本フェアに連動した「ポーランド国際絵本原画展」は、長年、板橋区立美術館を中心に開催されてきました。今年は、板橋のほか、西宮大谷記念美術館（兵庫県）、四日市市立博物館（三重県）、石川県立七尾美術館（石川県）、鹿児島県長島美術館と合計5箇所を巡回しました。公募によるこの展覧会は、キャリアに関係なく誰でも参加ができます。1980年の第1回以来、同展を担い続けている板橋区立美術館の松岡希代子学芸員は、できるだけ多くの人に応募してもらおうべく、区のホームページに情報を掲載するなど努力を続けてきました。26年に渡るそうした努力が実って、近年は日本人参加者も増え、日本人作家の作品に対して、国際的な評価も高まってきたといいます（『MOE2006年6月号』白泉社/『この絵本が好き!2007年版』平凡社より）。

一方、2000年から日本での開催がはじまった「ブラティスラヴァ（BIB）絵本原画展」は、日本国際児童図書評議会（JBBY）と美術館連絡協議会の共催で全国の公立美術館を巡回しています。スロヴァキアの首都ブラティスラヴァで隔年ごとに開催される絵本コンクールの受賞作を中心に、今年は日本を代表する絵本画家の作品と、1920年代から30年代にかけての黄金期と言われるチェコの絵本と絵本原画が出品され、カレル・チャペック、ユゼフ・ラダ、イジー・トゥルンカといった画家たちの原画、美しい絵本たちが来館者を魅了しました。また、チェコの絵本をテーマに北海道立帯広美術館で開催された企画展「チェコ絵本とアニメーションの世界」もまた、チャペック、ラダの時代から現代までの絵本とアニメーションを紹介した本格的な展覧会で、若い人たちにも人気を博しました。

その他の企画展では、珍しい初期の作品や大きな立体作品をポーランドから取り寄せ、代表的な作

品を一堂に集めた日本で初の大規模な展覧会となった「ウィルコンさんの動物ファンタジー ポーランドの絵本画家ユゼウ・ウィルコン展」や、月刊絵本「こどものとも」の50年を記念して全国 箇所巡回、開催された「創刊50周年 みんなともだち「こどものとも」の絵本展」があります。両展とも、本の形式で展覧会図録が制作されています。ウィルコン展の『Fantastic!』は本作りの美しさが、また、こどものとも展の『おじいさんがかぶをうえました』は、その資料的な価値の高さが印象に残りました。

特筆すべきはやはり、2005年6月25日に惜しまれつつこの世を去った長新太の展覧会でしょう。この一年間で5つの長新太展が6箇所の会場で取り組まれました。今江祥智氏蔵の作品を中心に、極めて珍しい長新太最初期の作品「凧揚げ」も出品された「子どもの本の世界展 長新太・チョウシンタの世界展」四日市市民文化会館（三重県）、絵本の樹美術館（山梨県）の「長新太 追悼絵本原画展」。東京、吉祥寺のトムズボックスでは、2005年12月、2006年1月、12月と3度の「長新太展」に取り組みました。ちひろ美術館、出雲市立平田本陣記念館（島根県）、刈谷市美術館（愛知県）の3館共同で開催した「ありがとう！チョーさん 長新太ナノヨ展」は、画家の福音館書店で出版された作品を収蔵する宮城県美術館から貴重な初期の作品も出品され、遺作となった『ころころにゃーん』の原画までを網羅した追悼展で、本展図録はこれまでの資料もとに、現時点での作家年表、出版目録として充実したものとなりました。反面、追悼展という性格上、準備に十分な時間が掛けられず、長新太の作家研究、作品研究、とりわけ表現の研究という点では不十分なものであったと言わざるを得ません。2007年には、同展の成果を踏まえ、新たに2倍の規模の長新太展が京都と横浜で予定され、さらなる、研究の前進が望まれます。

アメリカ、ニューヨーク市立図書館では、「EHON: **The Artist and the Book in Japan**」と題して、同館が所蔵する日本の絵入り本の大規模な展覧会が開催され、話題を呼びました。「百万塔陀羅尼」にはじまり、絵巻、奈良絵本、赤本、黒本から、『北斎漫画』や竹内栖鳳の絵巻、細江英公が三島由紀夫を被写体に制作した写真集『薔薇刑』、村上隆の絵本まで、数多くの日本の絵本、絵入り本が「天」「地」「人」の三つをキーワードに展示されました。展示のコンセプトが不明瞭で、日本人にとっては論理的に理解できない構成という印象でしたが、何より、同館が所蔵する日本の絵入り本コレクションの質の高さと量には圧倒される展覧会でしたし、日本のイラストレーションの歴史とそのクオリティの高さを紹介するという点では、意義ある展覧会であったと言えます。

人間がはじめて出会う美術であり文学である絵本。その意味では絵本原画展は、美術の裾野を広げる役割も果たしています。また、原画を通して伝わる作家の息づかいや熱い思いというものが、さらに大きく、また深く絵本を楽しむことにつながっていくということも事実でしょう。反面、「たとえば作家が渾身の力をこめた絵本の方向性も考慮せず、ただ絵を並べたような原画展では残念に感じます」（『この絵本が好き!2007年版』平凡社より）という広松有希子氏の指摘の通り、きちんとした理解のないまま、単に絵本原画を並べるといった傾向の原画展は、絵本展としても美術展としても魅力のないものにならざるを得ません。また、安易な取り組みの中で、作品の退色が懸念されるような外光が差し込む会場や、原画が傷むのではないかと思えるような飾り方を見ると心が痛みます。絵本が「EHON」と伝えられる現在、作品保存の視点も含め、絵本原画展には今、数だけではない質的な向上が求められるように思います。

■2006年絵本原画の展覧会・絵本画家の展覧会

2005.11.26-1.15	「赤ずきんちゃん」と名作絵本の原画たち トロースドルフ絵本美術館展	板橋区立美術館
2005.11.29-2.26	太田大八絵本原画展 魔女の世界	祈りの丘絵本美術館
2005.12.1-1.31	長新太展	トムズボックス
2005.12.9-1.22	わちふいーど原画展	出雲市立平田本陣記念館
2005.12.23-2.12	みんなともだち「こどものとも」の絵本展	新潟県立万代島美術館
2005.12.27-1.5	50years with miffy ミッフィー展	大丸札幌店
2005.12.29-1.25	どいかや『チリとチリリまちのおはなし』原画展	絵本の店 あつがるあつが
2005.11.12-1.15	荒井良二個展 EARLY WORKS	ビリケンギャラリー
1.10-1.31	みやにしたつやと武田美穂絵本原画展	木城えほんの郷
1.18-1.23	ミヒヤエル・ゾーヴァの世界展	松屋銀座
1.21-1.31	第12回絵本原画展 私たちが選んだ「評論社」の本	高崎シティギャラリー
1.21-3.26	彫刻家が描く 佐藤忠良の絵本原画展	宮城県美術館
1.28-7.2	もじゃもじゃペーターとドイツの子どもの本	国立国会図書館国際子ども図書館
1.28-2.26	オホーツクの海風 関屋敏隆絵本原画展	木城えほんの郷
2.1-2.28	伊藤秀男展	トムズボックス
2.6-2.18	スズキコージ イモヅル式物語展	ピンポイントギャラリー
2.15-2.28	飯野和好 面妖画展	ビリケンギャラリー
2.27-3.4	高野玲子作品展	ARAKAWA GALLERY
3.1-3.31	100%ORANGE	トムズボックス
3.1-5.14	コドモシャシ展vol. 1 高橋邦典〜ぼくの会った子どもたち〜	ちひろ美術館・東京
3.15-4.2	谷内こうたの世界	アートガーデンかわさき
3.1-6.24	サラ・ファネリ不思議な世界展	安曇野絵本館
3.1-7.3	アン・グットマンとゲオルグ・ハレンスレーベンの世界 ペネロペ絵本原画展	えほんミュージアム清里
3.3-7.3	「リサとガスパール」絵本原画展	斑尾高原美術館
3.4-4.9	コージズキン大千世界を駆けめぐる スズキコージの世界展	木城えほんの郷
3.9-5.9	女流絵本画家3人展 - 浜田桂子・大島妙子・なかみやみわ	絵本美術館&コテージ 森のおうち
3.22-4.3	Maisy™ 立体絵本原画展 ~ルーシーカズンズの世界~	大丸ミュージアムKOBE
3.25-6.11	長新太 追悼絵本原画展	絵本の樹美術館
3.27-4.1	安西水丸+和田誠「PARTNERS」	スペースユイ
4.1-4.30	片山健展	トムズボックス
4.7-5.7	いわさきちひろと日本の絵本画家たち展〜ちひろ美術館コレクションより〜	山形美術館
4.22-5.28	みんなともだち「こどものとも」の絵本展	高浜市やきもの里かわら美術館
4.22-5.28	「赤ずきんちゃん」と名作絵本の原画たち トロースドルフ絵本美術館展	刈谷市美術館
4.22-5.28	えほんはともだち「こどものとも」50年の歩みと絵本原画展	木城えほんの郷
4.28-7.11	武井武雄の科学絵本/かこさとし絵本の世界 ~だるまちゃんがやってくる~	イルフ童画館
5.1-5.31	スドウビウ展	トムズボックス
2006.5.8-5.16	伊藤正道作品展	the 14th MOON
5.12-7.18	油野誠一・遠山繁年2人展	絵本美術館&コテージ 森のおうち
5.12-7.11	ちひろと金子みすず	安曇野ちひろ美術館
5.13-7.10	斉藤隆夫絵本原画展	小さな絵本美術館(岡谷本館)
5.13-7.9	やなせたかしのおしごと展	おかざき世界子ども美術博物館
5.17-7.23	ありがとうチヨーさん 長新太ナノヨ展	ちひろ美術館・東京
5.26-6.7	荒井良二絵本原画展「ルフラン ルフランのあたらしい旅」	LOGOS GALLERY
5.26-7.10	50years with miffy ミッフィー展	島根県立美術館
6.1-6.30	スズキコージ展	トムズボックス
6.1-7.26	梅田俊作絵本原画展	射水市大島絵本館
6.1-7.31	デリア・カンセラ絵本原画展『不思議の国のアリス』	飛騨絵本美術館ボレボレハウス
6.1-9.3	里のくらしと生きものたち 昆虫図鑑 長谷川哲雄/いわむらかずお絵本原画展	いわむらかずお絵本の丘美術館
6.2-7.17	日本の絵本芸術展	新潟市立新津美術館
6.3-7.9	野間絵本原画コンクール入賞作品展	木城えほんの郷
6.3-7.2	世界の絵本作家展Ⅱ 絵本作家ワンダーランド (世界の人気絵本作家14人による170点の原画)	美術館「えき」KYOTO
6.10-7.9	イギリスの美しい本展	郡山市立美術館
6.24-8.6	世界の絵本がやってきたープラティスラヴァ世界絵本原画展 特別展示チャペック・ラダ・トゥルンカ チェコの絵本の黄金時代	足利市立美術館
6.28-9.4	ガブリエル・バンサン展	安曇野絵本館

6.29-7.19	『むしのうた』杉浦範茂さん原画展	クレヨンハウス
6.30-7.30	長新太『アブアアとアブブ』原画展+長新太トリビュート展	ピリケンギャラリー
6.30-10.9	女性イラストレーター展 欧米・日本の女性作家にみる様々な表現 (酒井駒子、にしまさかやこ、ターシャ・テューダーなど)	軽井沢絵本の森美術館
7.1-7.30	子どもの本の世界展 長新太・チョウシンタの世界展	四日市市文化会館
7.1-7.31	荒井良二展	トムズボックス
7.1-9.30	伊藤正道 絵本『でんぐりん』原画展	giogio factory
7.4-7.16	モルテザー・ザーヘディ展	美篤堂ギャラリー
7.5-10.2	開館10周年記念 サラ・ファネリの不思議な世界展	えほんミュージアム清里
7.7-8.20	第21回現代絵本作家原画展 四季に包まれて～絵本のなかの春夏秋冬～	東広島市立美術館
7.8-10.9	ウィルコンさんの動物ファンタジー ポーランドの絵本画家ヨゼフ・ウィルコンの世界	うらわ美術館
7.8-9.8	リサとガスパール絵本原画展2006	伊豆ティピア・ミュージアム
7.10-7.15	沢田としき個展	スペースユイ
7.13-8.31	創刊50周年みんなともだち「こどものとも」絵本展	姫路市立美術館
7.14-9.12	水木しげる展 夏だ！おばけだ！妖怪だ！	イルフ童画館
7.15-9.3	夏休みはトンボ・虫・ちょう・魚つかまえよう小さな生きもの世界今森光彦写真展	木城えほんの郷
7.15-9.24	ディズニー・アート展	東京都現代美術館
7.15-2007.1.28	北欧からのおくりもの一子どもの本のあゆみ	国立国会図書館国際子ども図書館
7.16-9.4	降矢なな 絵本原画展	八ヶ岳小さな絵本美術館
7.16-9.5	にしむらあつこ 絵本原画展	小さな絵本美術館(岡谷本館)
2006.7.19-7.30	世界の絵本作家展Ⅱ 絵本作家ワンダーランド (世界の人気絵本作家14人による171点の原画)	名古屋栄三越
2006.7.19-10.22	長谷川集平個展 連作サルコーデ・ナガサキ 第二楽章 夏	祈りの丘絵本美術館
2006.7.20-8.31	みやにしたつやの絵本原画展	かごしまメルヘン館
2006.7.21-9.3	50years with miffy ミッフィー展	高松市美術館
2006.7.21-9.26	やまわきゆりこ・あべ弘士2人展	絵本美術館&コテージ 森のおうち
2006.7.22-8.27	たむらしげるの世界展	新潟市立新津美術館
2006.7.22-9.24	『かばくん』も美術館にやってくる！中谷千代子 絵本の贈りもの	ふくやま美術館
2006.7.29-9.18	激しく創った!! 一田島征彦と田島征三の半世紀」展	高知県立美術館
2006.8.1-8.31	かわかみたかこ展	トムズボックス
2006.8.1-8.31	田島征三、田島燃2人展	けんぶち絵本の里
2006.8.2-10.1	ありがとうチョーさん 長新太ナノヨ展	出雲市立平田本陣記念館
2006.8.10-8.22	親子で楽しむ絵本原画展 (荒井良二・川端誠・田島征三・長新太・どいかや・みやざきひろかず他)	アートホール神戸
2006.8.12-10.1	世界の絵本がやってきたーブラティスラヴァ世界絵本原画展 特別展示チャペック・ラダ・トゥルンカ チェコの絵本の黄金時代	平塚市美術館
2006.8.19-9.24	2006イタリア・ポローニア国際絵本原画展 特別陳列アリレザ・ゴルドゥズィヤン	西宮大谷記念美術館
2006.9.1-9.30	さめやゆき展	トムズボックス
2006.9.1-9.11	井上直久作品展 ～イバラードへの誘い～	ギャラリー・ドゥ・プランタン
2006.9.4-9.16	出木根育展「マーシャと私」	巷房
2006.9.7-10.9	50years with miffy ミッフィー展	そごう美術館
2006.9.7-11.26	「今野もんじろう」発刊記念 ゆうひのなかま展	いわむらかずお絵本の丘美術館
2006.9.8-11.8	チェコ絵本とアニメーションの世界 チャペック、トゥルンカから21世紀の作家まで	北海道立帯広美術館
2006.9.9-9.22	『山のタラタラばあさん』原画展	クレヨンハウス
2006.9.9-10.30	『おつきさまこっちむいて』片山健 絵本原画展	小さな絵本美術館(岡谷本館)
2006.9.9-11.26	辻村益朗 子どもの本造り 装丁家の仕事展	絵本の樹美術館
2006.9.9-10.30	梶山俊夫 絵本原画展	八ヶ岳小さな絵本美術館
2006.9.15-9.24	にしまさかやこ・かな絵本原画展	春日井市民ふれあい文化センター
2006.9.15-11.28	瀬川康男絵本原画展	イルフ童画館
2006.9.15-11.30	韓国の現代絵本原画展	安曇野ちひろ美術館
2006.9.16-10.15	開館10周年記念 たからものコレクション連続公開絵本原画展Ⅰ期 アジアの物語絵巻の現代絵本への展開	木城えほんの郷
2006.9.16-11.26	絵本100年――日本の絵本芸術・本の世界――展	萬鉄五郎記念館
2006.9.19-9.30	荒井良二の展覧会 「こんにちは 日常」	魚いじう
2006.9.20-11.20	ベン・シャーン第五福竜丸と絵本展	都立第五福竜丸展示館
2006.9.27-11.26	没後50年 茂田井武展――お父さんの絵――	ちひろ美術館・東京
2006.9.29-11.29	さとうわきこ絵本原画展	射水市大島絵本館

2006.9.29-12.5	布絵コラージュ絵本原画展	絵本美術館&コテージ 森のおうち
2006.9.30-10.29	ポーロニア国際絵本原画展	四日市市立博物館
2006.9.30-12.24	伊藤正道 絵本『HOUSE』原画展	giogio factory
2006.10.1-10.31	井上洋介 9Bと赤鉛筆展	トムズボックス
2006.10.4-2007.1.14	こみねゆら絵本原画展	えほんミュージアム清里
2006.10.6-11.5	いわさきちひろ展——色のある水墨画——	富山県立水墨美術館
2006.10.7-11.12	みんなともだち「こどものとも」の絵本展	ひろしま美術館
2006.10.7-11.26	世界の絵本がやってきたーブラティスラヴァ世界絵本原画展 特別展示チャペック・ラダ・トゥルンカ チェコの絵本の黄金時代	静岡アートギャラリー
2006.10.7-11.5	ルフラン ルフラン2 本のあいだのくにへ 荒井良二絵本原画展	フリッツアートセンター
2006.10.11-2007.1.8	ユリア・ヴォリ展	安曇野絵本館
2006.10.13-2007.1.8	イギリスの絵本展 ~古典絵本の源流を見つめて~	軽井沢絵本の森美術館
2006.10.14-12.10	世界の絵本作家展Ⅱ 絵本作家ワンダーランド (世界の人気絵本作家14人による171点の原画)	川越市立美術館
2006.10.17-10.28	竹内通雅絵本原画展「たこたこふうせんトマト」のできるまで	ブックギャラリーポポタム
2006.10.21-11.19	開館10周年記念 たからものコレクション連続公開絵本原画展Ⅱ期 アジアの物語絵巻の現代絵本への展開	木城えほんの郷
2006.10.24-11.5	伊藤秀男展	SELF・SOアートギャラリー
2006.10.28-12.17	『講談社の絵本』原画展(7)~「子供知識」シリーズから	講談社野間記念館
2006.10.31-11.25	丸木俊絵本原画展「ロシアのわらべうた」	ブックギャラリーポポタム
2006.11.1-11.30	宇野亜喜良展	トムズボックス
2006.11.2-11.30	「3つのカバン」どいかや・田中清代・たんじあきこ	シーゲル堂
2006.11.3-12.3	ポーロニア国際絵本原画展	石川県立七尾美術館
2006.11.4-2007.1.14	ありがとうチヨーさん 長新太ナノヨ展	刈谷市美術館
2006.11.6-11.25	荒井良二の展覧会「こんにちは 日常」	Gallery Vie
2006.11.20-12.2	片山健 油絵個展	スペースユイ
2006.11.23-12.24	開館10周年記念 たからものコレクション連続公開絵本原画展Ⅲ期 アジアの土の香り 民族のものがたり	木城えほんの郷
2006.11.29-2007.1.31	ユーリー・ノルシュテインの絵本作り展	ちひろ美術館・東京
2006.12.1-12.31	長新太展	トムズボックス
2006.12.1-2007.1.30	市居みか絵本原画展	射水市大島絵本館
2006.12.5-2007.1.14	世界の絵本がやってきたーブラティスラヴァ世界絵本原画展 特別展示チャペック・ラダ・トゥルンカ チェコの絵本の黄金時代	広島県立美術館
2006.12.6-12.12	リサとガスパール絵本原画展2006	阪急百貨店うめだ本店
2006.12.9-2007.1.7	ポーロニア国際絵本原画展	鹿児島県長島美術館